

## ◆日時◆

2021年(令和3年)5月3日(月祝)

①部 9:00~10:15

②部 14:00~15:15

①部②部は同内容になります

## ◆開催方法◆

ZOOMによるオンライン開催

(全国から参加可能。当日は弁護士会にお越しいただいてもご参加いただくことはできません)

## ◆参加費・定員◆

無料・定員各500名

(どなた様でも参加可能です)

## ◆参加方法◆

開演時刻以降に下記URLからご参加ください。

①部 <https://zoom.us/j/96777589486?pwd=OXZaUU5jTUNObTQ5MDRRaDZBUUh0UT09>

②部 <https://zoom.us/j/93812064402?pwd=eFBWUOfxYU9xdjRDT1BwcnJnZXpMdz09>

◆ もしあなたの残り時間が限られたとしたら・・・仕事は・・・家族は・・・

◆ 関本剛医師は、緩和ケア医の第一人者であり、在宅ホスピス「関本クリニック」(神戸市灘区)の院長の職にあり、医師として日々活躍していたところ、2019年に自身がステージ4の肺がんであるとの診断を受けました。

◆ 当時43歳であり、自らクリニックを持ち、家族を抱えていた関本医師の葛藤は想像に難くありません。それでもなお、関本医師は、多くの看取り経験から自分の今後を考え、命ある限り医師としての仕事を全うされる決意を新たに、治療を継続しつつ医業に邁進されています。

◆ 私たちは普段、自分にとどれだけ時間が確保されているのかを意識することは少ないでしょう。しかし、誰もが、命、家族、仕事などを大事に思い、一人一人が日々を送っており、自分の時間に限りがあるかもしれないと仮定して生きることは可能です。憲法記念日の記念行事として、今一度、命、家族、仕事を大切に思うとはどういうことなのかに思いを致すきっかけとするべく、関本医師の講演を企画しました。なお、当日の講演は事前収録(本イベントのための撮り下ろし)の放映になります。

関本剛 (緩和ケア医師 関本クリニック院長)

「残り2年」の  
生き方、考え方

がんになった緩和ケア医が語る

宝島社

©宝島社

講師:関本剛 先生

(関本クリニック院長)

1976年神戸市生まれ。六甲学院高校、関西医科大学卒業。同大学附属病院、六甲病院緩和ケア内科勤務を経て、在宅ホスピス「関本クリニック」院長。2019年、ステージ4の肺がんと診断され、治療に取り組みながら医師としての仕事を続ける。2020年に著書「がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方」を出版し、大きな反響を受ける。

# がんになった緩和ケア医が語る 命、家族、仕事について

兵庫県弁護士会 憲法記念日 記念行事

主催:兵庫県弁護士会

お問い合わせ:兵庫県弁護士会

電話078-341-7061

<http://www.hyogoben.or.jp/>

